

試合会場レポート

[試合番号]特設

[開催日]2017/06/04

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]13:23

[終了時間]14:30

[試合時間]1:07

[主審]屋貝 直也

[副審]佐藤 治

[記録員]深谷 雄大

決勝戦

埼玉栄高等学校

監督：伊藤 寿一

コーチ：春山 将慶

2	25	第1セット 【0:18】	17	1
	19	第2セット 【0:21】	25	
	25	第3セット 【0:22】	21	

足利工業大学附属高等学校

監督：新井 房巳

コーチ：前山 光宏

【 】内はセット時間

戦評

決勝は初優勝を目指す埼玉県代表の埼玉栄高等学校と、22年ぶりの優勝を目指す栃木県代表の足利工業大学付属高等学校の対戦となった。決勝戦に相応しい白熱した試合はフルセットとなった。

第1セット序盤は一進一退の展開となったが、埼玉栄が松本のサーブを軸に6連続得点を奪ってリードを広げると、終盤には関根のスパイク、橋本の連続ブロックで足利工大附を突き放し先取した。

第2セットは序盤から、埼玉栄のミスにも乗じて足利工大附が大きくリードを奪う。埼玉栄は2度のタイムアウトを使い切り、流れを引き戻そうとしたが、足利工大附は小倉の巧みなトスワークで的を絞らせず、ウイングスパイカーのアタックや、ミドルブロッカーのブロード攻撃でさらに点差を広げた。埼玉栄は終盤4点差まで追い上げる粘りを見せたが、最後は足利工大附がかわしてこのセットを奪った。

第3セット、序盤は両チーム共に連続得点もありながらも、安定したサーブレシーブから拮抗した展開となった。中盤、足利工大附は塚越の強烈なサーブで連続得点を奪うが、埼玉栄もサイド、センターを絡めた時間差攻撃などでリードして終盤を迎えた。最後はセンターから打点の高いスパイク、サービスエース、レフトからの巧みなスパイクでセットを奪い、埼玉栄が初優勝の栄冠をつかんだ。